

中町中学校だより 丘山通信



多可町立中町中学校

令和7年4月10日(木)発行

<https://www.town.taka.lg.jp/naka-jhs/>

電話 32-0009 文責：校長 神崎



1 ごあいさつ

学校長 神崎進吾



学校の花々が芽吹き、新たな希望と期待が膨らむ季節、中町中学校に、新しい春が訪れました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、平素より本校教育に温かいご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、いよいよ58名の新入生を迎え、この歴史と伝統ある中町中学校を締めくくる令和7年度がスタートしました。「自主・協励・責任」の校訓のもと「優しく、賢く、逞しく ～未来を切り拓く生徒の育成～ 凡事徹底（時を守り、場を清め、礼を正す）」を学校経営方針として、一人ひとりが大切にされ、一人ひとりの良さが輝く中町中学校を目指し、教職員一同、心を一つにして取り組んでまいります。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

精一杯努めてまいります。至らぬこともあろうかと存じます。お子様のことで心配なこと、お気づきのことがございましたら、遠慮なくご相談、ご連絡をいただければ大変ありがたいです。皆様には大変、お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

この中町中学校だより『丘山通信』は、月の初めに発行いたします。ご家庭と学校をつなぐ架け橋として、その充実に努めたいと思います。返信欄等を利用し、忌憚のないご意見をお聞かせいただき、紙面を通して意見交流する中で、教育の充実につながればと思っています。よろしくお願いいたします。

また、学校のHP（ホームページ）につきましては、原則、毎日更新し、その日の学校生活の様子を随時お知らせいたします。是非ご覧ください。

※HPにつきましては、検索エンジンで「中町中学校」で検索いただくか、
上記URL、もしくは右記QRコードからアクセスしてください。



2 学校経営方針

本年度の「学校経営方針」を学校HP（ホームページ）にアップしていますので、ご覧ください。「構造図」「一覧表」「目指す教師像」の3部で構成しています。それぞれ、次の内容です。

○学校経営方針「構造図」

今年度の学校経営方針を「構造図」で示したものです。「いのちと人権を守る教育～人権教育を土台とした教育活動の推進～」の取組を根幹として、一人ひとりの生徒を人として尊重し、自立に向けて、生きる力（知・徳・体）を鍛え育ててまいります。目指す生徒像として、「優しい人・賢い人・逞しい人」を具体的に記述しています。

○学校経営方針「一覧表」

今年度の学校経営方針とその達成に向けての具体的な取組・努力目標を、0～5の6つの柱で示しています。0の「いのちと人権を守る教育～人権教育を土台とした教育活動の推進～」は、すべての取組の土台となるものであり、本校教育の一番の柱として、あえて1ではなく、0（ゼロ）と表記しています。

○学校経営方針「目指す教師像」

「教育は人なり」とよく言われます。子どもを成長させていくためには、教師が資質・指導力の向上を図らなければなりません。学校経営方針の達成に向けて、本校の教職員に対する心構えとして、「プロとしての自覚と誇りを持つ教職員」を掲げ、次の4つの目指す教師像を示しています。

- (1) 「授業で勝負する教師」 (2) 「子どもと共に歩む教師」 (3) 「子どもの模範となる教師」
(4) 「チームで取り組む教師」。詳しくはHPをご覧ください。

3 職員の異動について

転出等職員…大変お世話になりました。

転入等職員…よろしくお願いします。



4 職員紹介 一年間いろいろとお世話になります。よろしくお願いします。

【1年生担当】

【2年生担当】

【3年生担当】

[

[

)

5 令和7年度1学期始業式式辞（抜粋）

～A B C Dの法則～



今日は、日常生活や学校生活で大切な「A B C Dの法則」についてお話しします。ビジネスの世界でも、成功の秘訣と言われている法則です。毎年春になれば、多くの若者が「ビジネスの社会で成功したい」「仕事ができる社会人になりたい」と、希望に燃えて入社します。その新入社員

に対して、4月の研修でよく指導される法則です。

皆さんは「仕事ができる人」ってどんな人だと思いますか？ ものすごいスピードで仕事をこなす人でしょうか？ それとも多彩な仕事のアイデアを次から次へと生み出す人でしょうか？ それとも、難しい課題を軽々とクリアする人でしょうか？ 新入社員向けの研修で、講師の先生はこう言うのです。仕事ができる人とは「A.あたりまえのことを B.バカにしないで C.ちゃんとやる。それが、D.できる人」のことで、と。これが「A B C Dの法則」です。この法則は、私たちの生活において意識すべき基本的な原則です。以下のように、4つの基本的な考え方を示しています。

A：あたり前のことを

多くの人は、簡単なことやあたり前のことを軽視しがちですが、実はその「あたり前」が非常に大切です。学校生活では、毎日の挨拶や時間を守ること、準備をしっかりとすることなど、一見簡単に見えることほど重要です。例えば、「呼ばれたら返事をする」「荷物を整頓してロッカーにしまう」「トイレのスリッパを揃える」「提出物を期限内に出す」など、あたり前に思えることをしっかり実行できる人が、最終的に大きな成功を収めることが多いのです。

B：バカにしないで

身の回りには、先ほどの「あたり前のこと」を「これくらいいいだろう」と軽く考え、手を抜く人がいるかもしれません。しかし、どんな小さなことでも軽視せず、真剣に取り組むことが大切です。自分の成長のためにも、周りの人に対しても、その「小さな努力」を大切にする姿勢を忘れないでください。

C：ちゃんとやるのが

どんな課題や仕事も途中で手を抜くことなく「最後までやりきること」が大切です。単にやるだけではなく、全力で取り組み、丁寧に行うことが「ちゃんとやる」ということです。時間がかかっても、手を抜かずにやり切ることで、自分に自信がつき、周りからも信頼されるようになります。

D：できる人

できる人とは、決して特別な人ではなく、日々の努力を積み重ね、基本を守り続けることができる人のことです。どんなに小さなことでもしっかりとやり続けることができれば、それが自分の力になり、最終的に大きな成果を生み出します。

この「A B C Dの法則」は、どんな小さなことでも大切にし、しっかり取り組むことの重要性を教えてください。皆さんも、学校生活の中でこの法則を意識してみてください。毎日のあたり前のことをしっかりとやり、手を抜かず、最後までやり抜くことで、必ず成長できます。そして、周りから信頼される「できる人」になれるよう頑張ってください。

5 令和7年度入学式

4月9日（水）、気持ちの良い青空のもと、満開の桜の花が咲き誇る中、新入生58名を迎え、令和7年度の入学式を行いました。1年生は新しいブレザーに身を包み、厳粛な雰囲気の中、少し緊張しながらもこれから始まる中学校生活に期待と希望を抱いている様子が伝わってきました。新入生点呼では、しっかりとした返事ができる生徒が多く、気持ちの良いスタートを切ることができました。



学校長式辞では、新入生の心に留めておいてほしい3つのことについて、話がありました。Fさんの力強い新入生宣誓も立派でした。その後、本校の生徒会副会長の T さんによる「歓迎の言葉」では、「挑戦して上手いかわからないこともあるかもしれないが、全力で取り組んだことは、必ず自分自身の成長や自分自身の弱さに向き合うきっかけになる。失敗を恐れずたくさんのことに挑戦しよう」と、新入生に温かいエールを送ってくれました。新入生代表の S さんによる「誓いの言葉」では、「新しい環境の中、不安もあるが、一度しかない中学校生活を悔いのないものにするために多くのことを学び経験し、何事も全力で取り組んでいこうと思う」「たくさんの出会いを大

切にして、仲間との絆を深め、この三年間で、最高の思い出を作っていきたい」と語ってくれました。全校生200名、「自主、協励、責任」の校訓のもと、誰も学校生活を楽しいと感じ、誇りに思える中町中学校を創っていきましょう。

6 入学式式辞（抜粋）

～ 入学にあたって、大切にしてほしい3つのこと ～

さて、今、社会全体を見てみると、景気は好循環を見せており、良い方向に向かっていると言われています。AI等技術の進歩により、私たちの生活もますます便利で豊かなものになっていくでしょう。その一方で、ウクライナやパレスチナでは戦争が続いており、多くの人々が苦しんでいます。また、世界各地で大地震が頻発しており、日本でも南海トラフ大地震が心配されます。さらに最近では、アメリカの関税政策により、世界同時不況が起こるのではないかと世界中に不安が広がっています。よい意味でも、悪い意味でも、不確実性が高く、将来の予測が困難な状況です。



そのような状況下、新入生の皆さんは義務教育の後半、伝統ある中町中学校の一員となりました。皆さんの中学校での三年間は大変短いものですが、長い人生の中でも大きく心身共に変化する大切な三年間です。その中学校生活をどのように過ごしていけばよいのでしょうか。そのために、次の三つのことを話します。

まず一つ目です。何よりも自分のことをよく知り、そして自分を大切にしてください。人には得意なこと、苦手なこと、好きなこと、嫌いなことがあります。これからの生活には、教科の学習・部活動・友達関係・進路など、多くの出来事があり、思うようにいかないことも多々あります。そんな時こそあるがままの自分を認め、受け入れてください。そして、そこから自分に何ができるか、何が必要かを考え、他人と比べるのではなく、自分軸で行動してください。それが全てのスタートになります。

二つ目です。自分の周りの人を大切にしてください。学校は集団で学ぶ場です。知識を得て、それを生かして課題を解決する方法を学びます。それは、教科の授業のことだけではありません。行事や部活動の中でも、様々なことを体験し学んでいきます。自分さえよければいいといった行動や、友達を傷つけたり、ないがしろにするような言動は許されません。自分を大切にすると同じように、周りの人も大切にしてください。

三つ目です。学校は間違えたり失敗したりしてもいいところだ、ということです。学校は「失敗を恐れず、挑戦を続ける人を育てる」ところです。様々なことに自分の意志でチャレンジしてください。何かに挑戦して、たとえ結果が失敗でも、そこから学ぶことの方が自分にとって大きいのです。ただ、気をつけないといけないことがあります。それは、同じ失敗を繰り返さないこと。そして、失敗した時に、あきらめてやめてしまわないことです。もしも、自分の近くの人が失敗した時には、そのことを受け止めてあげることも大切です。失敗を恐れずに挑戦し続ける人になってください。

この三つを心に留め、中学校生活を送ることができるよう、熱い想いを持って先生たち全員で皆さんを応援していきます。そして、様々な良さを発揮できる場と機会を用意しています。ともに中学校生活を大いに楽しみましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の中学校へのご入学、誠におめでとうございます。中学校という、人生の土台を築く大切な三年間の教育を預かる責任の重さ、そして、何より五十八名のお子様の大切な命を預かるその責任の重さに、身が引き締まる思いです。

中学生は、大人への第一歩を踏み出す大切な時期です。この三年間で、周りが驚くほど、肉体的にも精神的にも逞しく成長します。その反面、この時期は多感な時期であり、ちょっとしたことでトラブルを起こしたり、自信を失ったりと、精神的に不安定になりがちな時期でもあります。人間は様々な困難や失敗を乗り越えて成長するものであり、我々大人の責務は、こうした生徒の成長の過程を見守り適切な支援を行うことだと思っています。

学校は生徒の学びの場であり、教育機関です。教師は教育の専門家であります。しかし、個々のお子さんを一番よく知り、その子にとっての最大の教育者はそれぞれのご家庭です。家庭教育の重要性と、生徒の心の安定を支える家庭の大切さについては、ここで語るまでもありません。集団を計画的に教育する学校と一人のお子さん

を教育するご家庭とが、同じ方向を向き、協力し合うことが、生徒個々の成長には欠かせません。私たち教職員一同、全力をあげて、責任を持ってお子様を育ててまいります。ぜひ、学校と家庭とが連携・協力し、一人一人のお子様の成長のために力をあわせていきましょう。

7 学校からのお知らせとお願い

(1) 交通安全について

命と体を守るため、自転車による登下校については、常日頃から指導の徹底に努めています。下記の点について、ご家庭でも注意、指導をよろしくお願いいたします。

- ヘルメット・安全タスキの着用 ○ 一列励行 ○ 指定した通学路による登下校
- 交差点等での一旦停止 ○ 右折・左折時の交通状況の確認 ○ 二人乗りの禁止

※ ヘルメットの着用は、一昨年4月より道路交通法の改正により努力義務化されています。

※特に新入生の皆さんは、カバンをゴムひもがゆるみのない状態でしっかりと荷台にくくりつけてください。ゴムひもがゆるんで外れ、後輪に絡まってしまうという事例が、毎年新学期のこの時期に起こっています。

※自転車通学をするにあたり、ご家庭より「自転車使用許可願」をご提出いただき、学校が許可をするという形をとっております。許可条件は以下の7点です。許可条件を守らなかった場合は、やむを得ず、自転車通学の一時停止や許可を取り消す場合もあります。生徒の命と体を守るための措置ですので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1. 交通法規を遵守する。
2. 自転車損害賠償保険等に加入する。
3. 中学校で決められた自転車通学のルールを守る。
4. 改造、装飾、シール貼り、ペイント塗り等をしない。
5. 自転車の点検、整備に心掛け、不良箇所があればすぐに修理する。
6. その他、交通安全について最善の注意、努力をする。
7. 先生、保護者、生徒会、交通指導員、警察、地域の人たちから注意や指導があれば、素直に受け入れる、



(2) 写真等の掲載について

中町中学校では、この学校通信「丘山通信」をはじめとする通信物の発行やHP（ホームページ）を通じて情報提供に努めています。分かりやすく、魅力ある内容にするため写真(画像)を掲載します。HPの写真は、遠方や後方から撮影したものを使用する等、個人が限定されないよう配慮していきませんが、お子様の写真(画像)の掲載を許可されない方は、お手数をおかけいたしますが、4月18日(金)までに、学級担任または教頭までご連絡をお願いします。

(3) 留守番電話と緊急時の連絡先について

教職員の働き方改革の趣旨を踏まえ、業務軽減の取組として、夜間から早朝、休日等の勤務時間外の電話につきまして留守番電話(音声ガイダンスのみ、録音機能なし)による対応を導入しています。留守番電話対応の時間帯は次のとおりです。緊急の際には多可町教育委員会または役場に連絡をお願いします。多可町教育委員会の電話番号は、32-2395、役場の電話番号は32-2380です。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



- 3月1日～9月末まで・・・18：30～翌日7：15
- 10月1日～2月末まで・・・18：00～翌日7：15
- ※休日等・・・・・・・・・・終日
- ※長期休業期間の平日・・・・16：40～翌日8：10

(4) tetoru (テトル) による欠席等の連絡について

多可町立小中学校では、ご家庭からの児童生徒の欠席等の連絡について、小中学校向け保護者連絡ツール「tetoru (テトル)」で行っています。学校を欠席や遅刻等される場合は、午前8時20分までに「tetoru (テトル)」で連絡をお願いいたします。なお、体調不良で欠席される場合は、かぜ、発熱、腹痛、生理痛など、できるだけ具体的な症状をお知らせください。特に、生理痛については、高校入試に置いて考慮される傾向にあるため、その旨お知らせください。

(5) 朝の時間帯の変更について

朝の学習に、しっかりと取り組めるよう、朝の時間帯を下記のとおり、変更いたします。

- ①時間設定 : 8時20～30分(学活)
8時30～40分(朝の学習)
8時40～45分(授業準備)
- ②朝の学習 : 8時30分～40分の10分間とし、スタディサプリ等に取り組む。早く終わった場合は、時間いっぱいその教科の学習に取り組む(各教室にタイマーを設置)
朝学習の実施状況については、学習評価の対象とする。
※点数ではなく、適切に取り組めているかどうかを評価する。

(6) 定時退勤日・ノー部活動デーについて

本年度も、原則毎週火曜日を職員の「定時退勤日」並びに部活のない日「ノー部活動デー」といたします。ただし、部活動中の生徒の安全確保のため、会議等の都合により「ノー部活動デー」については、別の日に設定することもあります。その際は、事前にお知らせいたします。

(7) テストに係る追試験について

本校では、定期テストや長期休業明けの課題テスト、年数回の実力テスト等のテストを実施いたします。テストの受験は、試験日当日が原則ですが、体調不良等によりやむを得ず受験できなかった場合の追試験の扱いは、以下のとおりいたします。



- ・体調不良等の場合・・・原則、試験実施日より3日以内に受験する
※参考点扱いとなります
- ・出席停止の場合・・・原則、出席停止終了後、受験する

(8) 多可町教育委員会の学校園施設破損に係る営繕措置について

学校では物を大切にすることを日々の活動の中で指導しております。しかし、生徒が成長する過程においては過ちもあります。その一つの例としてガラスの破損などがあります。故意にガラスを割った、ふざけて暴れていてガラスを割ったなど、その場所ですそうした行為をするとガラスや物が壊れるかもしれないのに、十分に考えずにそのような行為で物を破損したときは、行為を十分反省させるとともに、この過ちを今後に生かすために、多可町教育委員会の方針の下で修理代をいただくこととしております。もちろん全ての場合において修理代をいただくわけではありません。本人やその場にいた生徒から破損した状況をよく聞いた上で、多可町教育委員会が示す下記の措置に照らし合わせて、保護者の方に連絡させていただきま



す。過ちが今後に生かされるように、また物や人を大切にすることを育てるために、こうした措置をとってまいります。ご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

生徒・児童・園児等が学校園の施設や備品の一部または全部を壊したときは、下記のように措置する。

- A 不可抗力（過失）で壊れた場合・・・・・・・・・・・・・学校全額負担
 B 故意や不注意、ふざけたりして壊した場合・・・・・・・・・・・・・個人全額負担
 C その他（A・Bに当たらない場合や年齢に応じた判断力を考慮する場合）・・・・協議
 ※学校園で協議した上で学校園と保護者の負担割合を決定する。

（９）読書週間について

4月14日（月）～18日（金）を「読書週間」とし、朝学習の時間を活用して、朝の読書に取り組みます。スマホやタブレットの普及により、生徒たちも以前に比べてめっきりと本を手にする機会が減っています。本は「心の栄養」であり、小中学校時代の読書習慣は、学力にも人格形成にも大きな影響を与えていると言われています。ぜひ、この機会に家庭でもスマホを置いて、読書に励むきっかけにしていいただければと思います。お手数ですが、お子さまの読書用の本の準備をお願いいたします。また、図書室でも本の貸し出しを行っていますので、ご利用ください。



8 部活動の現状と今後の予定について

近年、本校でも生徒数の減少に伴い、部員数の減少、部活動を担当する教職員の数の減少という二つの課題が出てきています。現在、町教育委員会が主体となり部活動担当者会を開催し、合同チームについて、以下の①②の方針が、また、町が主催する「中学生のスポーツ・文化活動の地域展開検討会議」にて、③の方針が出されています。どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

- ①中学校の統合も見据えて、原則、現存する各校の部は廃部にせず、3中学校で部員数が足りない部がある場合は、町内の中学校同士で合同チームを編成する。（R4. 4～）
 ※中町中の部員数が足りない場合だけでなく、中町中の部員数が足りていても、他の町内の中学校の部員が足りずチームが組めない場合、合同チームを編成して大会に出場する。
- ②令和7年度の東播新人大会からは、原則、多可町内の全ての運動部は、合同チームで参加する。※吹奏楽部については、現在、協議中。
- ③令和8年度の総体をもって、部活動は廃止する。（地域クラブへの移行体制が整い、部員、保護者の理解が得られた部から、順次、地域クラブへと移行する）



9 多可町のスポーツ・文化活動の地域展開について

多可町においては、令和4年12月に国が示した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、令和8年の中学校統合に合わせて地域クラブ活動への完全移行（平日・休日のすべての活動）に向けた取り組みを進めています。現在、運営母体となる「スポ・カルたか」を中心にモデル事業の実施などを行い、地域で生徒たちの活動を支える仕組みづくりを進めています。詳細につきましては、多可町教育委員会のHPをご覧ください。



地域展開HP



4・5月の行事予定

GT=がんばりタイム、NBD=ノー部活デー、
SC=スクールカウンセラー来校

日	曜	4月	日	曜	5月
1	火	春季休業日	1	木	
2	水	春季休業日	2	金	
3	木	春季休業日	3	土	憲法記念日
4	金	春季休業日	4	日	みどりの日
5	土	春季休業日	5	月	子どもの日
6	日	春季休業日	6	火	振替休業日
7	月	春季休業日	7	水	
8	火	着任式・始業式	8	木	尿検査
9	水	入学式	9	金	
10	木	離任式、2・3年生給食開始	10	土	
11	金	1年生給食開始、生徒会オリエンテーション 2年生進級テスト、3年生実力テスト	11	日	
12	土		12	月	学年費引き落とし日
13	日		13	火	NBD GT
14	月	全国学力・学習状況調査(理)+質問紙	14	水	3年生、修学旅行
15	火	NBD	15	木	3年生、修学旅行
16	水		16	金	3年生、修学旅行
17	木	全国学力・学習状況調査(国・数)生徒会実践部会	17	土	
18	金	発育測定、生徒会オリエンテーション(部活動紹介)	18	日	
19	土		19	月	
20	日		20	火	NBD GT
21	月	生徒朝会	21	水	
22	火	大阪万博校外学習(要弁当)、NBD	22	木	生徒総会
23	水		23	金	心電図(1年)
24	木		24	土	
25	金	交通安全教室	25	日	
26	土	創立記念日、参観日(要弁当) 保護者説明会(2年トライやるウィーク・3年修学旅行)	26	月	
27	日		27	火	NBD GT、生徒会実践部会
28	月	振替休業日	28	水	
29	火	昭和の日	29	木	
30	水		30	金	眼科健診
			31	土	

※4月は学年費の引き落としは、ありません

キ リ ト リ 線

《第1号(4月)返信欄》

年 組 番 氏名()の父親・母親・祖父・祖母・兄・姉 (掲載可 どちらでも 掲載不可)

